

# HSK



第 99 号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可  
H. S. K通巻387号

発行日 平成16年6月10日  
(毎月10日発行)

編集 北海道腎臓病患者連絡協議会  
札幌市北区北17条西2丁目  
21-617-101

発行 北海道身体障害者団体定期刊行物協会  
札幌市西区八軒8条東5丁目4-18  
細川 久美子

平成16年 初夏号

道腎協 第27回 定期総会札幌大会開催  
第56回 北海道ブロック会議開催  
道の身障者医療費助成制度に透析患者も1割の自己負担



「桜と大地と大空」

撮影者 阿部 純一 氏

北海道腎臓病患者連絡協議会

e-mail doujin.k@aioros.ocn.ne.jp

# 道の医療費助成制度に1割の患者負担

## 市町村に1割負担の緩和活動を

北海道腎臓病患者連絡協議会

会長 川村 隆 志

会に残してくれた、たくさんの財産を大切に、仲間皆で守っていきたいと思います。

第27回道腎協定期総会も無事に終わり、平成16年度の活動が本格的に始まりました。

昨年度を振り返ってみますと、やはり大きな出来事としては、

現在もその対応に忙しい状況ですが、道の「重度心身障害者医療給付事業（マル障）」の見直しに対する活動が一番重要でした。

道腎協としては、道議会請願や全道の関連団体と連携し

て様々な要望活動をしてきました。本年1月から車椅子の方や重症の障害者の方達と共に、雪の中や道の悪い雪解けの中を何度も道庁に出かけマル障制度の見直し撤回を、まさに命がけて声を上げてお願いしてきました。

しかし平成16年3月の第1回北海道定例議会において予算案が可決成立したことから北海道医療給付事業のマル障制度の見直しが予定通り平成16年10月から実施されることとなりました。既に皆さんに

お知らせしているとおり住民税課税世帯に医療費の1割（通院12,000円/月上限、入院40,200円/月上限）の自己負担（限度額を超える分は後で償還払）ということですが、この間、請願署名を提出するなど何度も道議会に足を運び我々の声を訴えてきました。その結果今回のマル障見直しに当たり「事業の執行に当たっては、今後の市町村における論議の動向や見直しに伴う対象者への影響などの実態把握に努め、必要な対策を講ずるべきである。」との付帯意見が付されたことを受け、道は負担軽減への「検討委員会」を設置しました。今後は、道の「検討委員会」が提案する負担軽減案が6月から始ま



初夏の候、皆様の体調はいかがでしょうか。去る5月24日に道腎協を20年以上に互り支えてきた村本徳雄会計が永眠されました。52歳という若さでした。村本さんは、いつでも優しい言葉を皆にかけてくれていました。村本さんが

る道議会で審議されます。この結果を踏まえ道腎協としても6月の北海道議会に向けて2度目の請願署名活動をしていくところです。

マル障制度見直しは道腎協結成以来の重大問題となりましたが、リストラや給与引き下げ、賞与カット等、生活者に厳しい社会情勢の時期に患者の負担を増大させ、社会保障制度を改悪して、「医療は金次第」にしていくようにするよ

うな改革は、まさに暴挙と言わざるを得ません。医療制度改革は患者・国民のために行わなければなりません。道財政が赤字だからと言って、障害者を隅に追いやるような改革を行ってよいのか等、我々の置かれている立場と影響についてこれからも強く訴えていきます。患者会は、今まで以上に力を結束しなければなりません。これまで培ってき

### 請願内容

た大きな力と多くの仲間と一緒に、後退する福祉を少しでも食い止めなければなりません。患者ひとりの声は小さいかもしれませんが、その小さい声を集めることによつて大きな声となり大きな力となります。全道4、545人の会員の皆さんと力を合わせ、これからも活動を進めてまいります。皆さんのご協力よろしくお願い申し上げます。

重度心身障害者医療給付事業の1割自己負担の導入を取り消し現行どおりとすること。

される。しかし「事業の執行に当たっては、今後の市町村における論議の動向や見直しに伴う対象者への影響など実態把握に努め、必要な対策を講ずるべきである」という付帯意見が付された。

### 重度心身障害者医療給付事業（マル障）見直しに対する経過内容

3月10日 請願署名道議会に署名数5、738名紹介議員31名で受理される  
3月15日 本会議に付託議案として受理される  
3月23日 保健福祉委員会で審議され全会派一致しないため継続審議となる  
3月24日 H16年度予算案が可決成立

4月19日 負担軽減への検討委員会が設置される  
6月8日から開催される第2回定例議会に2度目の請願署名6月15日提出予定

### 請願内容

1月29日 道保健福祉部長へ要望書提出  
2月24日 紹介議員要請  
3月4日 紹介議員要請

予算案成立により住民税課税世帯の医療費の1割（通院12、000円/月上限、入院40、200円/月上限）の自己負担が決定

1、「重度心身障害者医療給付事業」見直しの患者負担上限額に緩和措置をとり全国並に下げること。  
2、札幌市の高齢者医療費償還払い制度を全道自治体に

務局に提出

も適用すること。

3、更生医療指定機関を増設すること。

今後、道議会では負担軽減への検討委員会での内容を審議します。

6月提出の2度目の請願については紹介議員・議会事務局の指導を戴きながら運営会議・ブロック会議で議論を重ねて決めてきました。

このマル障制度は市町村が主体となり実施するものですが、その経費を今年度から道が50%、市町村が50%補助する制度であるため、今後道へは道腎協が他団体とも協調し行動していきますが、市町村単位での行動もこれから重要となりますので平成16年10月導入までに地域での活動をお願い致します。

※道議会、各市町村議会の経過・結果等については、次号からそのつど報告掲載します。

## 「重度心身障害者医療給付事業」見直しを反対する請願署名

平成16年6月14日現在

地 方 名	署 名 数	地 方 名	署 名 数
旭 川	3,294	十 勝	2,898
岩 見 沢	140	苫 小 牧	2,321
浦 河	421	根 室	324
江 別	569	深 川	75
小 樽	3,832	室 蘭	1,294
オホーツク	406	紋 別	
北 見	710	夕 張	230
釧 路	2,360	留 萌	591
札 幌	7,469	稚 内	269
静 内	130	士 別	149
滝 川	326	三 笠	126
伊 達		富 良 野	110
千 歳		小 清 水	370
道 南	1,660	合 計	30,074

# 道腎協第27回定期総会開催



を祈り「黙祷」を捧げました。

川村隆志会長のあいさつでは、「20年以上道腎協をささえてくれた村本徳雄氏が52歳の若さで亡くなられましたが、この会にのこしてくれた沢山の財産を守っていきます。」この一年、会行事、運動など各地域腎友会の皆様に協力をいただき無事活動をしてこられました。「特にマル障制度が今年10月から改悪され施行されようとしています。この問題については昨年の12月より他方面に渡り運動し要望書、請願署名などを道議会に提出しました。さらに6月の道議会に向けて2回目の請願署名を提出し、患者の声を届け、今後、ますます団結していかなければなら

## 《来賓》

祝電・メッセージ  
北海道透析療法学会

会長 大平 整 爾様

北海道透析医学会・会長、医療法人恵

水会・札幌北クリニック・理事長

今 忠 正様

札幌市医師会透析医会

会長 中野 幸 雄様

医療法人社団恵水会・田島クリニック

名誉院長 田島 邦 好様

北海道議会議員・民主党

北 準 一様

滝口 信 喜様

岡田 篤 篤様

沖田 龍 児様

池本 柳 次様

北海道議会議員・自由民主党

清水 誠 一様

和田 敬 友様

北海道議会議員・公明党

稲津 久 久様

北海道議会フロンティア議員会

会 長 岡 田 憲 明様

北海道議会議員・フロンティア議員会

山本 雅 紀様

財団法人北海道腎臓バンク

理事長 武井 正 直様

社団法人全国腎臓病協議会  
会 長 油井 清 治様

第27回道腎協定期総会が平成16年5月30日(日)札幌ホテルユニオンにおいて来賓4名、全道各地より会員・家族131名の出席のもと開催されました。

総会は午前10時より堀井副会長(札幌)の司会で始まり、長年道腎協の会計など会活動に尽力された村本徳雄氏が5月24日に亡くなられたことが報告され、又、亡くなられた仲間のご冥福



司会 堀井和彦副会長



北海道難病連常任理事  
三森礼子 様



北海道移植者協議会・会長  
松浦信博 様



北海道議会議員・公明党  
佐藤英道 様



北海道議会議員・日本共産党  
大橋 晃 様



りません。」ということでした。  
 続いて、来賓の大橋道議、佐藤道議のあいさつでは、マル障



議長団左から柳沼正一、大澤則夫両氏



活動報告をする  
 澤内繁雄事務局長

北海道移植者協議会松浦会長は新しい移植に関する話をされていきました。最後に北海道難病連三森常任理事が「一致団結して会活動をして行きましょう。」ということで来賓のあいさつが



祝電・メッセージ  
 吉田季代乃さん

制度の自己負担がほぼ決定、10月より施行となりますが、道腎協はじめ160の団体が一つになり連絡会をつくり要請にこられたのは初めての経験です。それだけに大変な問題であり、議会が終わってからでも知事に申し入れなどもしており、今後、皆様と共同して要求し撤回していかねければなりませんとのことでした。



会計監査報告をする蓬田雄一・福原真理子両氏

その後、祝電・メッセージが吉田季代乃さん（札幌）より披露されました。続いて議長団の選出に入り柳沼運営委員（札幌）大澤運営委員（十勝）の両氏が選出され議事に入りました。  
 澤内事務局長より平成15年度活動報告、三上事務局次長の平成15年度決算報告、蓬田・福原



代理の  
 村本 会計報告をする  
 三上 留美子さん

終わりました。

- 社団法人  
 日本臓器移植ネットワーク様  
 株式会社ほくやく  
 代表取締役 眞鍋雅昭様  
 塩野義製薬株式会社  
 札幌支店長 土井清之様  
 日機装株式会社札幌支社  
 支社長 迎 煌様  
 クラレメディカル(株)札幌営業所様  
**県 腎 協**  
 宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、石川県、栃木県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、富山県、福井県、静岡県、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、岡山県、広島県、高知県、長崎県、熊本県、宮崎県  
 （以上25県腎協）
- 展示にご協力頂いたメーカー  
 エルピス株式会社様  
 ベーター食品株式会社様  
 商品提供にご協力頂いたメーカー  
 三和化学研究所様  
 オンキョーリブ株式会社様
- ご寄付**  
 北海道移植者協議会  
 会長 松浦 信博様
- ◎皆様にご心より感謝申し上げます。



活動方針を説明する掛札聖副会長

両会計監査報告があり、3件一括で拍手をもって承認され、休憩に入りました。

続いて平成16年度活動方針(案)が掛札副会長(釧路)から又、



大会スローガンを読み上げる水島裕運営委員

平成16年度予算(案)が三上事務局長より提案され、多少の質疑応答のち拍手をもって承認されました。

スローガンは水島運営委員(室



平成17年度総会開催地旭川会長青柳正一氏



蘭)、総会宣言は石井幹事(札幌)が原案を朗読して提案、拍手で採択され、議長団の解任の挨拶があり、すべての議事が終了しました。

平成17年度道腎協総会が旭川で開催されるにあたり旭川腎友会青柳正一会長(道腎協副会長)より挨拶があり、山口副会長(苦小牧)の閉会の挨拶で無事終了



閉会の挨拶をする山口信子副会長



医療講演の工藤靖夫先生

しました。

午後より記念医療講演「透析患者の心臓のはなし」よりよい生活を送るために」と題して医療法人社団北海道恵愛会南一条病院院長工藤靖夫先生を講師に行われました。

講演内容は機関紙"どうじん"



メーカーさんから説明を受ける



前日の懇親会

次号に掲載予定です。

前日(29日)は同ホテルに於いて午後5時より総会に向けてのブロック会議を開催し、打ち合わせを行いました。

その後、午後7時より札幌腎友会の協力により50名の出席により、懇親会がおこなわれカラオケなどで楽しいひとときを過ごしました。

(報告 澤内)

# 第56回

# (社)全腎協北海道ブロック会議報告

平成16年4月10日・11日の  
両日、札幌のホテルユニオン

に於いて、第56回(社)全腎協北海道ブロック会議がオプザーバー3名を含め36名の出席により開催されました。

橋本運営委員(釧路)の開会のあいさつに始まり、諸先



輩の冥福を祈り黙祷を行ないました。

川村会長のあいさつは、「今回3月のマル障見直しに対する道議会請願は皆さんの協力で31名の紹介議員で請願する事ができました。この見直しについては、6月の道議会に向けて再度請願署名をお願いしますので、皆さんのご協力よろしくお願い致します。」

「国会請願署名も55、000名に達成し昨年よりも10、000名以上も増え感謝しております。」という事でした。続いて、全腎協北海道ブロック担当佐藤利國理事が全腎協理事会出席のためメッセージを預かり橋本運営委員が代読させて頂きました。議長に大澤運営委員(十勝)を選出し

議事に入りました。

## (1) 地域腎友会組織活動報告

○1月25日幹事会を開催してマル障見直し対応について話し合う。

○マル障見直しの件について道議会議員及び江別市長に要望書提出。

○平成16年度福祉内容について江別市と協議。

○更生医療指定について浜和会江別病院と協議中。

○マル障見直しについて北見市へ要望書提出。

○マル障見直し要望書、知事、道議会各会派へ発送。

○第30回定期総会記念式典

及び新年会開催。

○市では道の医療制度の見直しを受け医療助成制度の給付内容の見直しが検討されている。

○1月新年会。

○マル障の見直し反対道議会請願署名の取り組み。

○マル障見直し反対道議会請願署名提出。

○知事、市長宛マル障見直し反対の要望書提出。

○役員のみならずがいない苦慮している。

○新年度総会。

○患者も高齢になり役員



なりてがない。

○マル障見直し反対道議会

請願署名の取り組み。

○西胆振泌尿器科クリニック

7月1日開院予定。

### 静内

○マル障見直し反対要望書、

知事、静内町、新冠町へ

提出。

○若い患者が会員にならない。

又、役員のなりてがない。

○難病連静内支部閉鎖。

### 滝川

○ボーリング大会30名参加。

### 十勝

○マル障見直し反対要望書、

道・市町村へ提出。

○会員拡大の為、パンフレット

作成。

○道知事へのハガキ行動の

取り組み。

### 釧路

○マル障見直し反対の知事、

道議会議長への要望書、

及び抗議。

ハガキ送付、同じく道議会

会請願署名活動。

○釧路管内及び根室市を除

く町村長へ要望書提出。

○釧路選出道議6名、根室

選出道議1名に要望書提

出。

○更生医療指定は釧路地区

(根室市は除く) 13施設

のうち4施設のみが指定。

### 旭川

○マル障見直し陳情書、市

議会議長に提出。議会で

審議。

○マル障見直し反対、知事

へのハガキ要望書提出。

○マル障見直し反対、近隣

9町(上川、愛別、比布、

和寒、鷹栖、当麻、東神

楽、東川、美瑛)に要望

書提出。

○患者会未組織施設への会

員勧誘行動「どうじんPR

版」「旭腎報」の配布。

### 道南

○マル障見直し反対、知事

への要望ハガキで提出。

○マル障見直し反対、函館

市長宛文書にて要望書提

出。

○函館市市民助成課とマル

障について意見交換会。

### 小樽

○マル障見直し反対の道議

会請願の紹介議員の依頼

に廻る。

○マル障見直し反対、1市・

19町村へ要望書提出。

○小樽市防災課に「防災計

画の中に透析治療確保の

項目を加える様に、依頼

書提出。

○厚労省へのハガキ行動。

### 浦河

○マル障見直し反対で地元

選出道議に陳情。

○マル障見直し反対、浦河

町議会議長と口頭にて相

談。必要あれば陳情書を

出し、道側へ要望すると

の約束をとる。

### オホーツク

○マル障見直し反対道議会

請願署名の取り組み。

○病院改築に伴う要望事項

及び透析患者に関する事

項を透析病院との懇談会

開催。

○透析患者は増えているが

新会員加入がなかなか増

えない。



## 岩見沢

○マル障見直し反対の件に対し会報の号外版を出し取り組んでいる。

○岩見沢市内2ヶ所の透析施設が透析治療を中止するとの事。1ヶ所の施設に集中し病院側、腎友会も戸惑いもあるが会員も増えている。ただ役員が不足している。

## 札幌

○マル障見直し反対、知事、札幌市長へ要望書提出。

○マル障見直し反対、会員へのハガキ運動呼びかけ。

○札幌選出議員への道議会請願紹介議員の依頼。

○近郊市町村への要望書提出。(8市町村)

○札幌市では「透析患者の立場に配慮したものにしていきたい考えである」という事を確認。

## 室蘭

○特定非営利活動法人サポ-

ト室蘭が本格的に介護保険訪問介護事業開始。事務員1名、ヘルパー11名。

○マル障見直し反対、知事、室蘭市に要望書提出。

○室蘭市が全補助金支給団体にに対し10%カット施行。

※今回はマル障見直しに関して、全道の各地域患者会では行政への取り組みが活発に行われました。

(2) 第23回全腎協総会報告

(3) 第33次国会請願報告

(4) 平成15年度第3回運営会議報告

(5) 第27回道腎協定期総会議案について

① 平成15年度活動報告

② 平成15年度決算報告

③ 平成15年度会計監査報告  
多少の質問がありました。

たが承認されました。

④ 平成16年度活動方針(案)

⑤ 平成16年度予算(案)

⑥ スローガン(案)

⑦ 総会宣言(案)

若干の質疑の後全て承認されました。

(6) 道との意見交換会報告

(資料) “どうじん” 第97号参照)

(7) マル障制度見直しの反対活動報告について

(8) 更生医療制度について

(9) その他  
○第27回道腎協定期総会札幌大会

○北海道難病連全道集會小樽大会

平成16年8月7日(土)・8日(日)、小樽市で開催されます。

腎臓部会として医療講演を予定しています。

○平成17年度第28回道腎協定期総会  
旭川市に決定しました。

※1日目、急速自由時間を設け、自己紹介や各地域腎友会の透析時間等の問題点を討論しました。

山口副会長の閉会のあいさつで無事終了しました。

(報告 澤内)



# 第33次国会請願報告

柳 沼 正 一 (札幌腎友会)

本年3月25日、北海道腎臓病患者連絡協議会代表として小平氏(旭川)、柳沼(札幌)、自費参加の伊林氏(旭川)と佐藤利國全腎協理事とで衆議院第1・第2議員会館及び参議院議員会館を訪れ北海道の皆様の名55、133名を7個に分けて、国会議員に渡すことができました。

請願日当日は、薄曇りのほどよい天気で、気持ちよくホテルを出て官庁街をぬけ皇居の中道の桜を遠目にして行き、国会議事堂目の前に到着しました。国会議事堂に隣接して衆議院会館の第1と第2が並び参議院会館がその横に並んで建っております。全国から患者会代表、総勢

190名が国会請願集会に集結、油井全腎協会長が今回の請願の趣旨と意気込みを述べた後、来賓挨拶が行われました。国会議員18名、秘書61名の方々が次々と駆けつけ、その中で北海道の衆議院議員・佐々木英典先生と同・石崎岳先生にご出席とご協力の挨拶を頂きました。

又、衆議院議員・三井わきお先生の秘書、南長様にも集会に参加していただいております。

午後1時より各議員事務所を尋ね、衆・参両院への紹介議員を要請いたしました。

最初に各会館(ロビー)ごとに受付をして、各国会議員ごとにこちら側から時間を指定して申し込みます。受付では直ぐに面会の確認をして頂

き、直接各議員事務所での面会が可能となります。

はじめに、佐々木英典先生に直接お会い出来ました。又、三井わきお先生には秘書に対応して頂き、いずれも20分程の話し合いで請願項目(7項目)と院への紹介のお願いは元より、糖尿病予防の為の学校教育体制づくり、透析患者の介護や送迎問題、献腎移植の現状、地方での医師不足や

病院の老朽化等、また、北海道の重度心身障害者医療助成制度の見直し、他府県にない突出した自己負担であることを伝え、お話ししました。

又、石崎岳先生には事務所入り口でのご挨拶のみになり、その他の衆議院議員2名と参議院議員2名には秘書を通じ、請願書(署名)を渡していただける様お願い致しました。

私は今回の国会請願に初めて参加したが、道議会での請願でも経験をしました。が、1日で議員さんに面会出来るのは2、3人で、何度も通わなければ本人にはなかなか面会は出来ないのが普通だと感じています。

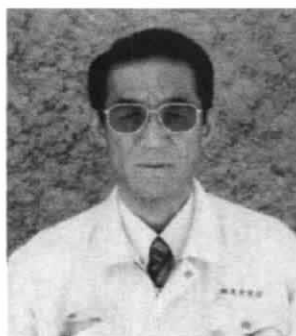
しかし、今後とも長年にわたり国会などをお願いしていく訳ですから、普段からの地元での面識を大切にして行かなければならない事を、強く感じたことをお知らせしてご報告と致します。



(左から小平氏、佐藤氏、佐々木議員、伊林氏、柳沼氏)

# 「組織率の上乗せ」

道腎協運営委員 大澤 則 夫(十勝)



私は、十勝腎友会の会長を引受けて3年目になり、同時に、道腎協の運営委員になり何も分からないままに、自分なりに一生懸命やってきたつもりなのですが、患者さんには、なかなか分かってもらえず困り果てている次第です。透析患者を取り巻く環境は、一段と厳しくなると思われま

す。この状況を、患者さん一人一人が考えて行かなければならないのですが、分かってもらえないのが現実です。役員が、一生懸命がんばってもどうにもならないのです。国会請願活動のページをコピーし、自分の通院している患者全員に渡したところ、かなり考えていたみたいです。腎友会を強固な組織にするためにも、これからも頑張っていきたいと思っています。国会請願こそが透析患者の生命線であること、赤い糸のつながりであるのだと患者一人一人が、もう一度考え今の自分に何が出来るのか、ということ考

えてほしい。重度心身障害者医療費給付制度に自己負担を導入、これは我々透析患者にとっては大変な事なのです。会の活動等に対して意識の格差がますます目立つ様になってきました。

このことは会活動の上にも大変な事になっているのです。「今のところ1日おきに病院に行き、透析していて調子も良いし、腎友会等は自分にとって必要ではない」という患者が増えていきます。透析を始めたらずは地方腎友会に入会し、会の活動等に意識を持ち共に力を合わせ頑張っていこうではありませんか。一人一人の力が大きな力になるのです。これからも自分なりに頑張っていくつもりです。ご協力をお願いします。

## ホットライン

北海道難病連全道集會  
小樽開催

日時

8月7日(土)・8日(日)

場所

小樽市民センター

腎臓部会では、小樽

市総合福祉センター

で8月8日に医療講

演を行ないます。

講師

小樽リハビリテーション

クリニック

院長 河口道夫 先生

演題

「透析医療における

社会的要因―ある視

点から―」

皆さんの参加をお願

いします。

尚、申込については、

難病連の機関紙「なん

れん」でお知らせしま

すので、難病連に直接

申し込みください。

# 各地のたより

## 〈苫小牧〉

### 第30回定期総会開催

2月1日(日)第30回定期総会がグランドホテルニュー王子に於いて、来賓に道腎協会長



川村隆志氏及び苫小牧市議会議員・顧問の吉田正義氏をお迎えて、会員及び家族89名の参加のもと開催された。定刻事務局から開会の挨拶がなされ、定足数に照らし、出席者が過半数を超えたので、本日の定期総会は成立する旨報告された。

次に昨年逝去された会員の皆様に黙祷を捧げ、冥福を祈りました。

続いて総会次第により、会長の挨拶、来賓の挨拶、祝電メッセージの披露と続き、議長の選出です。事務局一任で山口会長が、小向利雄氏(王子病院)を指名し議案の審議に入った。

第1号議案の事業報告、第2号議案の決算報告と続き、

藤原美智子氏(日翔病院)の監査報告の後、質疑を議場に諮ったところ、全員異議なく原案通り承認可決された。

第3号議案の事業計画、第4号議案の予算(案)が説明され、同じく議場に諮ったところ、全員異議なく原案通り承認可決された。

第5号議案その他で事務局から役員改選の報告があり、任期残りの1年を現体制で進める事です承を得ました。ここで議長が退任され、永年透析会員の記念品贈呈となりました。30年表彰、25年、20年、15年と21名の該当者が表彰されました。自己管理と真摯な生活態度は、我々透析患者の模範とするところでもあり、元気の会員がおられることは励みにもなって喜ばしい限りです。以上で定期総会は滞りなく終了し閉会となりました。

(報告 河内 英樹)

## 〈小樽〉

平成16年度小樽後志地方腎友会総会開催について

4月25日(日)午前10時から小樽市総合福祉センターにおいて平成16年度・第23回小樽後志地方腎友会総会が開催されました。

はじめに、昨年1年間に亡くなられた会員の方々に黙祷



を捧げました。

その後、会長代行による会長挨拶、道腎協堀井副会長による来賓挨拶と続き、議長を選出して議事に入りました。

平成15年度活動総括、活動報告、決算報告、監査報告、平成16年度活動方針(案)、事業計画(案)、予算(案)と、それぞれの説明を終えて、報告事項、協議事項は無事承認されました。

次の協議事項の「役員選出」は、あらかじめ各病院選出の役員候補が承認されて、北新会長ほか26名が新役員に決定しました。

11時、議事がすべて終了し、総会を閉会しました。

総会終了後、道腎協堀井副会長により(株)重度心身障害者医療助成見直しについての説明を受けました。透析者の医療費の仕組みから始まり、今回の医療費の見直しに関する

問題点等を詳しく説明していただき、また質疑応答では多数の質問が出て、充実した説明会になりました。

昼食後12時30分より宮の沢泌尿器科クリニック院長の小林真也先生による「透析患者の骨・関節の合併症について」と題した医療講演が行われました。

リンと骨との関係などをスライドを使ってわかりやすく説明していただき、また質問や意見にも丁寧にお答えいただきました。

最後に出席者全員で記念写真を撮影し、「また、元気で会いしましょう」と挨拶し、お開きとなりました。

(報告 須貝 恵美子)

## 〈室 蘭〉

介護ヘルパー取得に挑戦

目標をもって前向きに生き

る事が大切

平成7年に透析医療のお世話になる事になりました。当初は透析治療を受けながら、タクシー乗務の仕事が続けていましたが、疲れなどから体調不良などが続き、仕事を退職する事になりました。

その後、1年ほどたった頃に腎友会の佐藤利國会長から透析患者の病院への送迎ボランティア活動をしてみないか、と言うお話をいただきました。私自身も障害者となり、家族や回りの人達から支えてもらいながら、また社会からも恩恵を受けながら生かされている事に感謝していましたので、何か恩返しをさせて頂

きたいと思い佐藤会長からのお話しを受ける事にいたしました。

その後、佐藤会長から介護ヘルパーの資格を取って本格的にやってみないかと云われ、学校に行く事にしました。月、水、金、は透析のため午前中の講義を受け、火、木、土に重点的に講義を受けるようにして、講義教科58時間、実技教科42時間、実習教科30時間の単位を取得する事が出来、介護ヘルパー2級の資格を取得しました。

その後、利用者の方の乗降介助や身体介護の活動をしています。

利用者から有り難うの言葉が励みになる

その際に利用者の方からの『ありがとう』の言葉が、とても励みになり私自身が皆様のお役に立っている喜びを感じています。これからも、介



佐々木さん

護ヘルパーとしての自覚と責任を持って活動して行きたいと思っっています。私達、障害者は病気という名に甘え、生きる事に弱気になったり、わがままになったりと、マイナス思考になりがちです。

しかし、何か目標を持って前向きに生きることが大切ではないでしょうか。これからも、腎友会を通して皆様と助け合いながら頑張って行きたいと思っっています。

ありがとうございました。

(報告 佐々木 悟)

## 〈旭 川〉

### 第17回総会と医療講演会

平成16年度第17回旭川地方腎友会総会及び医療講演会が去る4月25日、市内のときわ市民ホール多目的ホールにて開催されました。

当日は曇り空で朝から気温



が低くお昼頃にはミソレが降るといふあいにくの天気なのか、会員・家族併せて84人の参加がありました。

来賓で衆議院議員の佐々木先生と市議会議員の安口先生をご招待していましたが、あいにく両先生ともお仕事の都合で欠席され代わりに温かいメッセージをいただきました。

総会は15年度の活動報告及び決算報告と16年度の活動方針・予算案が発表されました。同時に今回の総会で私達の事

業の一つである「通院支援センター」たいせつ旭川」の決算報告もされ、この時点で旧役員の退任と事業を見直しての再出発を承認されました。

医療講演会は、市内の「だてクリニック院長」伊達敏行先生による「透析骨症の最近の話題―二次性副甲状腺機能亢進症の新しい治療法―」と題して講演して頂きました。

内容はPTHホルモンが多くなると骨にどんな影響がでるのか、その時のリンとカルシウムの関係、そして今注目の「PEIT」と呼ばれる二次性副甲状腺機能亢進症の治療法を、スライドを交えて分かりやすく説明をしていただきました。講演の中で「リンは高くても低くても同じように死亡リスクが高い」ということだそうで、やはりここでもリンのコントロールが重要であることが結論のようです。

1時間あまりの講演で皆さん熱心に聴かれ大変勉強になったと思っっています。この講演内容は次回発行の「旭腎報」にて掲載予定です。

近年総会と講演会の参加者が少なくなっており、関心の高そうな講演をすることが参加離れを防ぐ要因であることが伺われた内容となりました。

(報告 事務局)

## 〈十 勝〉

### 第20回定期総会

去る、4月25日、十勝プラザ1階大会議室に於いて、第20回十勝地方腎友会定期総会が開催されました。

当日は、会員・家族合わせで63名の出席があり、定刻より少々遅れての開会となりました。まず亡くなられた多くの仲間黙祷を捧げました。次いで、来賓の道議会議員、

北龍一様、池本柳一様、小野寺秀様よりご挨拶を頂き、道腎協の川村会長にも挨拶をして頂きました。

平成15年度事業報告、会計決算報告が承認され、次いで平成16年度の事業案と活動の方針案などの報告が行なわれました。

その後、長期透析会員の表彰に移り、15年6名、20年5名、25年2名、30年1名の方々

記念品と大きな拍手が贈られました。

午後からは20周年記念行事である医療講演「ブラッドアクセスの合併症」について、帯広徳洲会病院の外科部長、有山先生にお話をいただきました。

今年度、20周年の記念の年でもあり、又医療講演もあるという事から、いつもの年より出席者が多かった様におもいます。しかし、私達をとり

まく現状は年々非常に厳しくなってきたに患者全体にあまり危機感が浸透してない様におもいます。

この10月からは自己負担もかかる様になり、我々の置かれる現状は、本当に厳しいものになります。

新年度のスタートと共に、気を引き締め今後の活動に取り組みたいとおもいます。

(報告 小笠原 和枝)

## 一般投稿

### 春告魚(ニシン)

留萌地方水無人腎友会 佐藤 了一



お正月をいろいろおせち料理の中で、定番のカズノコは、その50%が留萌産である。原料のニシンは、今や北米産が中心で、ほぼ100%輸入物だが、50年程前まで留萌は、ニシンの千石場所であった。群来と呼ばれる、その鯨の巨大な群れは、海の色までも変える程の量であり、そこから得られる莫大な富と権益は、魚にして魚に非とされ、鯨という字

までがあてられた。それが人を集め、町をつくり、雪のまだ消えぬ北の大地に賑わいの春を呼びこんだのである。そのニシンがここ数年、すこしづつ帰ってきた。しかも今年は富漁であったらしく、知人からのおすそ分けが我家にもやってきた。みっしりとカズノコを腹に抱えた大振りのニシンは、プチプチとした音と歯ざわりを楽しめる、まさに春を告げる旬の味であった。もちろん、頭の片隅に、たんぱく値とリンのことを気にしつつ、五訂食品成分表を見開きながら…。



# 全腎協全国大会報告

道腎協運営委員

柳 沼 正 一

平成16年5月23日(日)、長野市若里多目的スポーツアリーナ(ビックハット)に於いて、全腎協全国大会が開催されました。

前日の交流会での諏訪御柱祭「木遣り唄」で一氣に会場皆さんの気を引き締め、大会の朝には、善光寺を参拝、清めた身で大会入りをしました。9時開会の宣言、地元長野県腎協新村代表より歓迎の挨拶がありました。

続いて油井全腎協会長より、「この大会が今日一日盛り上がることを確信しています。(ここで黙祷を行いました。)診療報酬改定で透析の質の低下が危惧される会活動を一度振り返って考えなければならぬ、2005年までに全腎協の改革を行い皆様に示したいと思えます。」と、問題提起と大会に対しての力強い激励と歓迎

の挨拶がありました。

続いて「患者の声」、3名の患者より発表がありました。

「在宅血液透析を実施して」と題して、苦難は有りましたが、在宅による長時間透析のすばらしい効果の実感、逆に透析医療の質が問われている昨今、時代に適応できる柔軟性や積極性を持って、腎友会の豊富な人材と知識を、自分のより良い透析ライフに生かして下さいとのこと。

他に「自立のために障害者の労働条件の整備を」と「献腎移植の普及を期待して」が発表されました。障害者といえども甘えは許されぬ、しかし安心して生きていける社会制度になるよう患者会活動も頑張っています。18年の透析後に献腎移植を受けました。身近にいる透析患者が共に喜びを分かち合える、そんな社

会になることを期待します。との訴えに身近に感じた事が多く、大きな拍手をおくりました。

次に、来賓挨拶・祝電披露が行われ、栗原全腎協副会長より基調報告がありました。

休憩後、記念講演が「がんばらない」けど「あきらめない」を諏訪中央病院鎌田先生より行われました。

若き青年医師の頃、ある末期癌患者に「がんばろうね」と声をかけた。彼女の目からポロポロと涙が落ち、「今まで

精いっぱい病氣と闘ってきました。先生、もうこれ以上がんばれません」。返事には言葉がつかまったそうです。時には頑張れない自分や、頑張らない自分を認めてあげてもいいのではないかと思ったそうです。透析患者も安定期に入れば時には好きなだけ食べたり飲んだりしたくなる。でも「あきらめない」で丁寧に分らなく生きていること、それが人生だと私も感じました。

昼食・休憩の後、分科会があり、「ホームシアターでの討論劇」コーナーに参加しました。

透析者に関しての色々な場面を寸劇で再現し、その時感じたことや、自分だったらこうする等、もう一度劇を再現、途中ストップさせて、そのの台詞を変えたり、実際に劇に参加して自由に喋っていたのだというものでした。俳優気分まで真剣に、笑いも出て現実の場面に遭遇したかのよう有意義な時間をすごせました。

今回の全腎協大会に参加出来たことに感謝し、ご報告と致します。



## 『人を愛すること』

伊藤清春(釧路)

皆さん、こんにちは。お身体の調子はどうですか？毎日元気で過ごしてでしょうか？私はと言えば、先日鼻血が止まらず1週間程入院しましたが、今は元気でぼちぼちなんとかやっています。そして、なんと今年9月3日で透析歴が、満20年になります。さらに5月11日で満42歳になりました。後厄です。宜しく。えっ、何が宜しくなの？かはよく解りませんが、ぷるぷいーるはこれくらいにしておきます。

さて、『愛するということ』とは、なんぞや？どう言うことなんや？ちょっと調べてみました。広辞苑によれば、心がひきつけられ慕う。いつくしみ、かわいがる。大切に思う。好き好む。と書いてありました。他の辞書には、前記の他、許す、与えるとも載っていました。では、ここからは私の中の観点で述べていきたいと思います。ここでいう人を愛するという事は、決してエロチシズム的な愛するではなく、人の人格を尊重する、かわいがる、労わる、癒すという意味の愛するということです。対象は物ではなく人です。それは、家族、子供、兄弟、姉妹、親、祖父母から始まり、親戚、職場の同僚、隣近所、ご老人、幼児、知的障害者、精神障害者、障害者そして、自分があまり好きでない人も含め自分に携わる人すべてです。これは大変難しい課題です。

では、どうしたら良いのでしょうか？人を愛するには、まず自分を愛することが絶対条件です。「自分を愛する」とは、わがまま勝手、利己的になるということではありません。不安や虚栄心から生まれるのは、まったく逆のゆがんだ形の自己愛です。真の自己愛とは、「精神的、肉体的にも健康で自分を知り、常に前向きで、自分の足でしっかりと地面を踏みしめながら歩いていると実感を持つ事」です。いつも批判をし、仕事がつまらない、他人が冷たい。恋人が思いやりが無い。自分の人生の不満を他人のせいにはいませんか？悪い事を他人のせいにするれば、一時的に楽なように思えますが、結局は自分自身を苦しめることになります。目覚めなければなりませんね。随分、えらそうな事言っている私も実はまだまだなんです。『イライラして生きても一生、明るく優しく生きても一生』どちらを選択するのも自由です。明日から勇気を持って豊かな心、ゆとりのある気持ちで、明るく、笑顔で人と接してみてもどうでしょうか？きっとあなたの中で何かが変わるはずですよ。



# 青年部 K I N O H I

## 平成16年度活動方針

「各地域で活動のみえる青年部」

## 平成16年度活動目的

- ・ 部員拡大
- ・ 部員の意識改革
- ・ 地域腎友会への積極参加

## ◆◆◆◆◆ 参加者募集 ◆◆◆◆◆

### ● 全腎協青年交流集会 in だいせん

日 時：8月28日(土)～29日(日)

会 場：大山ロイヤルホテル 鳥取県西伯郡岸本町丸山中祖1647-13

テーマ：患者会の原点にかえろう

全大会…患者会と透析医療の歴史をふりかえる講演会

分科会…「透析とお金を考える」「よい透析とは何か」

「リーダーが考える青年部活動」

全大会や分科会の内容については予定です。6月中には正式な案内がきます。

全国の青年部の仲間と透析について考えてみませんか？

参加を希望される方は道腎協事務所にお問い合わせください。

### ● 青年部支援・第24回腎提供者拡大街頭キャンペーン in 土別

日 時：7月4日(日) 10:00～13:00 (予定)

場 所：土別市

全道各地の地域腎友会では、9月26日(日)にその地域の特色を生かし街頭や各地の催事場で臓器提供意思表示カード等の配布をします。

土別腎友会では全道に先がけ、「04ふれあい広場」のイベントに合わせて7月に開催します。初めてのキャンペーンなので青年部全体で協力することになりました。みなさん土別でのキャンペーンにご協力ください。

お問合せ・参加希望の方はこちらへ

道腎協 TEL・FAX (011) 747-0217

E-mail : kiyono@jikabaisen.com

参考文献：キッセイ薬品工業㈱ 透析のはなし⑨より

## 1 動脈硬化とその原因

動脈硬化とは、動脈の内側に脂肪やカルシウムがたまって、血管が狭くなったり、硬くなった状態をいいます。長期にわたって透析を受けていると、血管の内側が傷ついたり、体の代謝が変化することによって脂肪やカルシウムが血管の壁に付着しやすい状態が続き、動脈硬化のリスクが高くなります。さらに、透析者は高血圧、高脂血症（脂質代謝異常）、糖尿病、慢性腎不全によるリン、カルシウムの代謝障害などを合併していることが多く、同じ年齢の人よりも動脈硬化がおこりやすいといわれています。

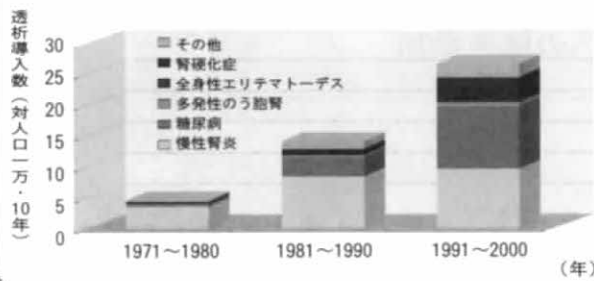
動脈硬化について、まず正

しい知識を身につけることが大切です。

### 糖尿病

現在、透析にいたる原因の中で最も多いのが糖尿病性腎

◆透析導入の原疾患の推移◆



症です。このことからわかるように、透析者には糖尿病にかかっている人も少なくありません。

糖尿病の人は、高い血糖の

### 高脂血症（脂質代謝異常）

透析者の体内では、脂肪の

分解（代謝）が

うまくできず、

中性脂肪（トリ

グリセライド）

が増えてしま

います。また、中

性脂肪が増える

と、動脈硬化を

抑える働きのある

善玉コレステ

ロール（HDL

コレステロール）

が減りやすく、

さらに動脈硬化

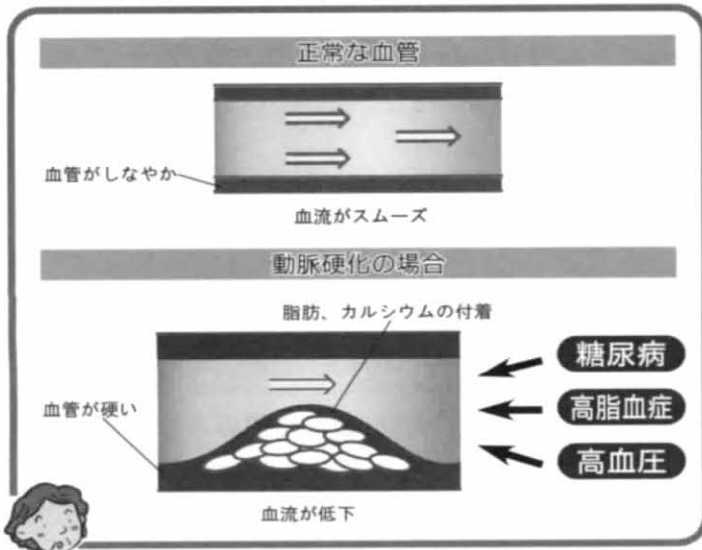
のリスクが高ま

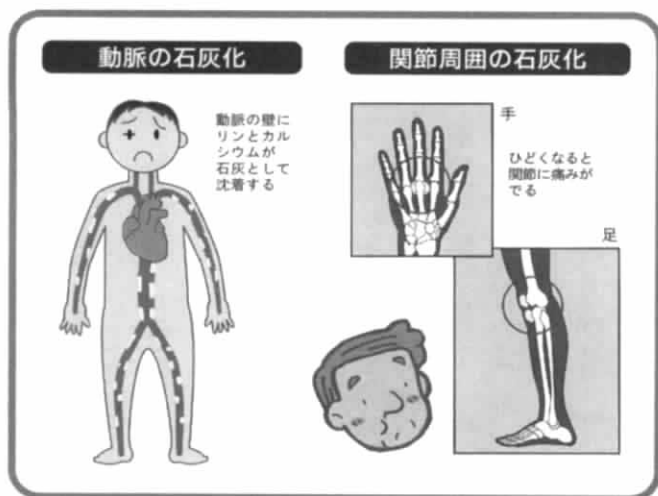
ります。

影響で血管が傷つきやすくなっています。痛んだ血管には、血液の中のコレステロールなどが付着しやすく、動脈硬化がおこりやすくなります。

### 高血圧

慢性腎不全では腎臓から水





## リン・カルシウム 代謝異常

リンやカルシウムは腎臓か

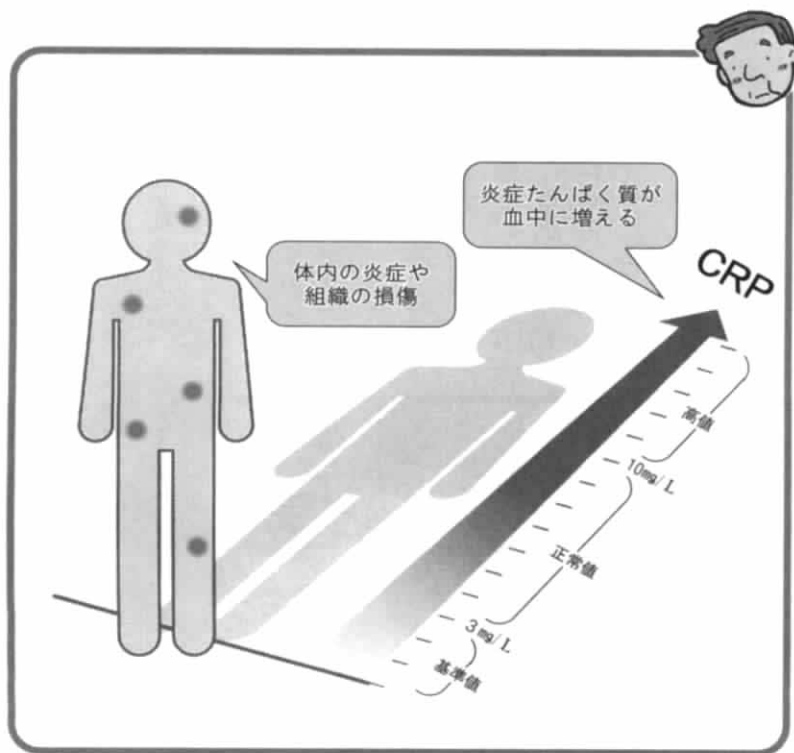
分が排泄されにくく血液量も増えてしまうため、増えた血液を体内に送り出すために心臓は強く収縮し、血圧が上昇しやすくなります。この結果、

心臓に大きな負担がかかるとともに、血管にも高い圧力(血圧)がかかり、傷つきやすくなります。

ら排泄されます。また小腸からのリンやカルシウムの吸収を促進するはたらきのある活性型ビタミンDは、腎臓で作られています。このようにリンとカルシウムの代

謝は腎臓と深い関係があります。慢性腎不全ではこれらはたらきが変調をきたしています。

リン・カルシウムの代謝異常が進むと、骨以外の組織にリンとカルシウムが石灰として沈着する、異所性石灰化がおこりやすくなります。透析者では動脈硬化に伴い石灰化した血管がよくみられます。



## 慢性炎症状態

CRP (C-反応性タンパク) は体内に炎症や組織の損傷がある場合に血中に増えるたんぱく質の一種であり、体

内の炎症状態を示す指標として一般に用いられています。動脈硬化は血管壁における慢性炎症と見られることもでき、CRP値が高いと動脈硬化の進行が早いことが報告されています。

## 2 動脈硬化によって引き起こされる合併症

動脈硬化が進むと、血液が十分に流れないためにさまざまな合併症をおこしやすくなります。いずれの合併症も、生活の質（QOL）を著しく低下させ、生命の危機を招くものです。とくに心不全、心筋梗塞、脳梗塞、脳出血などの血管系合併症は、透析を受けている人の死亡原因の上位を占めており、予防と早期発見がきわめて重要です。

### 狭心症・心筋梗塞

#### ・心不全

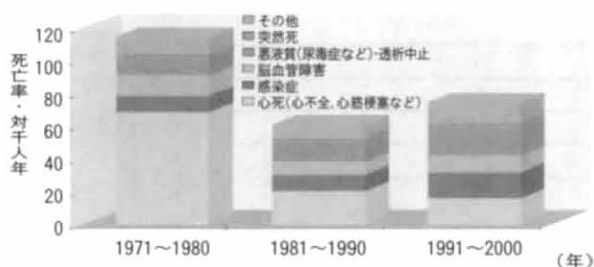
心臓の動脈（冠動脈）に動脈硬化がおこると、血液量が減少し、十分な酸素や栄養が運ばれなくなってしまう。このような状態（虚血状態）が続くと、発作的に動悸や息切れ、胸の痛みがおこることがあります。これを狭心症と

いいます。

さらに、冠動脈が完全に閉まって、激しい胸の痛みとショック症状を伴うのが心筋梗塞、虚血状態や心臓の筋肉の疲労で心臓が十分に血液を送り出せなくなり、むくみや動悸、息切れがみられるのが心不全です。

### 脳梗塞・脳出血

◆透析者の死亡率・死亡原因の推移◆



脳に血液を送っている血管（脳動脈）が詰まることで、脳に酸素や栄養が供給できなくなった状態を脳梗塞といい、脳の血管が破れ出血してしまふことを脳出血といいます。透析を受けることにより血管が傷つけられたり、血液が固まりやすくなるため、透析者では一般の人よりも脳血管障害が多いといわれています。頭痛、悪心・嘔吐、手足の麻痺、言語障害、意識障害などの症状がみられたら、すぐに主治医に相談しましょう。

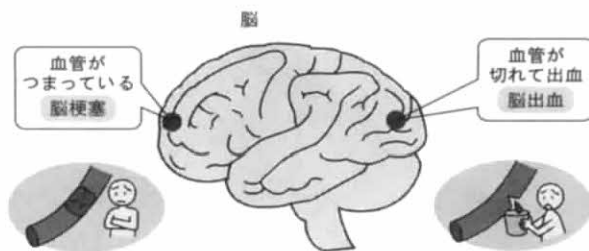
### 閉塞性動脈硬化症

下肢の動脈が詰まってしまふことによりおこります。

初期には下肢の冷感やしびれ感がみられる程度ですが、進行すると、歩くときに下肢が痛くなったり(間歇性跛行)、安静時に下肢が痛んだりします。さらに悪化して血流が極端に低下すると、壊疽(組織

が死んでしまふ)を起こしてしまふので、早期治療が大切です。

透析者は一般の人に比べて脳出血の割合が高い



ある日の「どうじん」編集及び校正中。「原稿2つ書いたけど両方字数多くなった。なんとか入れて!!」と私。そこで「何年やってんだ。編集委員だろう!!」とお叱りのことば。しかし、編集長、少し行数を増やし載せてくれました。H13年秋頃から、文字が大きい記事が増えてきたのに皆さんお気づきでしたか?

目が悪くなってきた会員さんもいるので、少しでも見やすい紙面にしようと、編集長の提案があったからです。

そんな村本徳雄編集長が、先月52歳で、私たちのまだ見知らぬ世界へ旅立って行かれました。

道腎協の機関紙として、必ず掲載するものがあります。現在、道腎協として取り組んでいる事、総会・ブロック会議・地域腎友会の活動の報告、

各種制度・医療の情報等、すべてが会員の皆さん一人一人に関係し、大切な事柄ですが、難しい内容も多くなりがちです。会員さん、役員さんの寄稿を大切にする姿勢とともに、この「ほっとステーション」

は、「会員の皆さんの日常生活に密着した情報を、時には会員の方々のいろいろな工夫や、

きるだけそのまま伝える、各種制度等をわかりやすく伝えるなど、いつも、限られた紙面の中、ことばひとつひとつを熟考する編集長の姿がありました。

何人かの役員さんが村本さんから、「患者会は自分の為にやっているんだよ。人の為に思えば負担になる。」「自分の

た視点を感じます。

## ほっとステーション

写真撮影がお好きで、会員さんの写真のあい間に何度か表紙になりました。「花紙に撮ってくれて言

生き方を紹介しながら楽しく読める物を。」という編集長の考えから生まれたコーナーです。また、医療講演の「どうじん」への収録は、講演内容を正確に伝え、話しことばから書きことばに変換していく時、講演者のお話しの調子とお人柄を伝える点で難しい作業です。寄稿された文章をで

病気の事は、自分で守るという事。「相手の話を良く聞いてから話さない。」といつもアドバイスを受け、さまざまな相談によく乗ってもらったと言います。道腎協の役員として、「どうじん」編集長として、全体と一人一人を底で支える存在で、道腎協を訪れる方々にも、よく「無理するん

うんだよ。」と照れながら。昨日ラジオで、H13年初夏号表紙を飾った村本さんの写真のあの花のたよりを聞きました。編集長、あの「キングサリ」の花が、陽の光を受け鮮やかな黄色で、今、満開です。ありがとうございます。



# 事務局通信

ご寄付をいただきました

キドニー会会長

松浦信博様 1万円

南一条病院院長

工藤靖夫先生 2万円

村本志津子様 10万円

青い鳥ハガキ(20枚)

高橋幹子様(札幌)

川村隆志様(札幌)

川村百合江様(札幌)

堀井和彦様(札幌)

三上留美子様(札幌)

小澤由紀恵様(札幌)

大切に会活動に役立たせて戴きます。

ありがとうございます。

## 《住所変更》

新住所

旭川地方腎友会

〒078-8329

旭川市宮前東4155-30

旭川市障害者福祉センター

「おびつた」3階

☎0166-33-9083

オホーツク腎友会

〒093-0045

網走市大曲2丁目6-1

道営D-1-4

佐々木正明様方

☎0152-43-1195

道南腎臓病患者連絡協議会

〒040-0021

函館市の場町19番6号

筒井紀昭様方

☎0138-55-7019

平成16年6月27日から右記

の事務局に変更となりますの

で、よろしくお願いいたします。

## 《腎友会名称変更》

(旧) 清水赤十字病院腎友会

(新) 小清水腎友会

## 《会長変更》

稚内腎友会

(旧) 浜

(新) 福田茂哉氏

オホーツク腎友会

(旧) 小田切文夫氏

(新) 佐々木保子氏

小樽後志地方腎友会

(旧) 金井英樹氏  
(新) 北 征子氏

## 料理講習会のご案内

透析食栄養士研究会

テーマ リンのコントロール食

日時 10月3日

10時からの予定

会場 札幌エルプラザ

調理室 北8条西3丁目

お問い合わせは

札幌北クリニック 栄養科

☎011-747-1121

## 表紙の写真

題名「桜と大地と大空」

撮影者 阿部純一

・僕の住んでいる近くの川

西町を撮影したものです。

大地をバックに空と雲

と桜を撮影したものです。

この構図になるまでに

雲の動きを待つて2時間、

待ったかいが、ありました。

・花 桜

## 編集後記

今回は、10日に発行が、出来なかった事をお詫びいたします。

村本編集委員長が亡くなられた事は、私達編集委員にとっても、大きな打撃でした。

村本さんが入院する時に、機関紙「どうじん」6月号の事を大変気にしておりました。その時は、村本さんがすぐ退院できると信じていましたので、「大丈夫、まかせて」とかよく言っていました。でも、村本さんが亡くなってしまった

今、村本さんの苦労が一気に押し寄せてきて、悪戦苦闘の毎日でした。こうしてやっと何とか発行に、こぎ着けました。この次は100号です。村本編集委員長が、「次号は100号だね。」と言っていた言葉を思い出します。貴方の優しさを私達は忘れません。(三上)



村本徳雄氏（札幌）



昭和57年度より道腎協の役員を、昭和63年度から平成2年は会計監査役。平成3年度から今年度平成16年まで会計をして頂き機関紙「どうじん」の編集委員長でもあります。平成16年5月24日52歳で永眠されました。

ご生前のご活躍を偲び心からご冥福をお祈り申し上げます。



## 事務局活動経過報告

- |          |   |          |   |
|----------|---|----------|---|
| 2月10日(火) | 道医療費助成見直し説明会—川村会長参加   | 4月5日(月)  | ブロック会議資料送付—39通<br>「ぜんじんきょう」声のテープ発送        |
| 2月13日(金) | マル障見直し反対行動についてと資料、事務局へ郵送  | 4月8日(木)  | 機関紙「どうじん」号外号印刷                            |
| 2月16日(月) | 運営会議案内郵送<br>「国会請願紹介議員のお願い」議員会館へ文書郵送   | 4月9日(金)  | 機関紙「どうじん」1校目出し<br>難病連へ決算書・予算書他郵送          |
| 2月18日(火) | 衆議院—三井辨雄氏、佐々木秀典氏、石崎岳氏、金田誠一氏、鉢呂吉雄氏<br>参議院—伊達忠一氏、風間和氏<br>上記の議員の方の地元（旭川、道南、札幌）に対して要請行動のお願い文書郵送 | 4月13日(火) | 号外（重度心身障害者医療費助成制度（マル障）への自己負担金反対活動報告）発送—   |
| 2月19日(木) | 道庁障害福祉課、主査田中氏、主幹伊藤氏来局   | 4月14日(水) | 機関紙「どうじん」2校目出し<br>臨時号の原稿作り                |
| 2月20日(金) | 道議会議員へ紹介議員お願い文書郵送   | 4月15日(木) | 総会案内の作成                                   |
| 2月23日(月) | 機関紙「どうじん」校正   | 4月16日(金) | 臨時号の作成<br>「今月の情報」No152コピーと作成              |
| 2月24日(火) | 「今月の情報」No150コピーと作成  | 4月19日(月) | ブロック会議報告書作成<br>総会（交流会）の案内作成               |
| 2月25日(水) | 「今月の情報」No150郵送  | 4月20日(火) | 「今月の情報」No152、「どうじん」臨時号発送                  |
| 2月26日(木) | 道議会各会派、紹介議員廻り   | 4月22日(木) | 総会案内、役員へ送付—47通                            |
| 2月27日(金) | 参加—川村氏、青柳氏、鈴木氏、柳沼氏、佐藤氏  | 4月23日(金) | 「どうじん」とポスター校正                             |
| 2月28日(土) | 運営会議資料の作成   | 4月24日(土) | 署名用紙—各事務局へ発送                              |
| 2月29日(日) | 機関紙「どうじん」校正   | 4月25日(日) | 道庁へあいさつ廻り—澤内事務局長                          |
| 3月1日(月)  | 機関紙「どうじん」最終校正   | 4月26日(月) | 全腎協へブロック会議報告書発送                           |
| 3月2日(火)  | 運営会議資料郵送  | 4月27日(火) | ブロック会議欠席者へ報告書郵送—5通                        |
| 3月3日(水)  | 道議会へ署名用紙を持参—川村氏、柳沼氏   | 4月28日(水) | 「どうじん」議案書発送                               |
| 3月4日(木)  | 「事務局だより」No19～20郵送—24通   | 5月7日(金)  | 機関紙「ぜんじんきょう」No203、「事務局だより」No23発送          |
| 3月5日(金)  | 機関紙「ぜんじんきょう」No202発送   | 5月10日(月) | 各党と紹介議員になっていただいた各議員へ総会案内状持参—澤内事務局長        |
| 3月6日(土)  | 運営会議資料の作成   | 5月12日(水) | 総会、交流会、宿泊名簿作成                             |
| 3月7日(日)  | 大橋道議会議員と面談—堀井氏、澤内氏  | 5月18日(火) | 北海道知事、高橋はるみ氏へ総会案内状送付                      |
| 3月8日(月)  | 機関紙「どうじん」No97発行、11,000部   | 5月19日(水) | ホテルユニオンと打合せ（総会）                           |
| 3月9日(火)  | 運営会議—参加11名  | 5月20日(木) | 機関紙「どうじん」1校目出し                            |
| 3月10日(水) | 運営会議—参加10名  | 5月21日(金) | 総会、運営要領・会場見取り図作成                          |
| 3月11日(木) | ブロック会議案内と活動状況報告書用紙郵送  | 5月22日(土) | 「今月の情報」No152コピーと作成                        |
| 3月12日(金) | 難病連会計監査、参加—澤内事務局長、三上事務局次長   | 5月23日(日) | 「今月の情報」No152郵送                            |
| 3月13日(土) | 「今月の情報」No151コピーと作成  | 5月24日(月) | 総会用弁当などの手配                                |
| 3月14日(日) | 「今月の情報」No151郵送  | 5月28日(金) | 事務局会計、村本徳雄氏死去                             |
| 3月15日(月) | 澤内事務局長腎バンク寄附金持参   | 5月29日(土) | 「ぜんじんきょう」声のテープ発送                          |
| 3月16日(火) | 決算書、予算書作成   | 5月30日(日) | 総会前ブロック会議—参加31名                           |
| 3月17日(水) | 議案書発注   | 5月31日(月) | 交流会—参加48名                                 |
| 3月18日(木) | 会計監査—参加、蓬田氏、福原氏、村本氏、三上氏   | 5月30日(日) | 第27回道腎協定期総会・札幌大会                          |
| 3月19日(金) |   | 5月31日(月) | 参加—135名<br>来賓4名、患者・家族・スタッフ131名<br>総会お礼状作成 |

透析により欠乏しやすい栄養成分の補給に、  
L-カルニチン、必須アミノ酸、水溶性ビタミン(B<sub>1</sub>、B<sub>2</sub>、B<sub>6</sub>、P、他)、ミネラルを効果的に配合。  
透析専門医の協力を得て開発された栄養補助ドリンクです。

L-カルニチンを多く摂取したい方、  
水分量が気になる方へ、おすすめ!

わずか20mlに高配合!

L-カルニチン350mg

こんなことが  
気になる方に!

足のケイレン

血圧低下

倦怠感

心臓機能の低下

貧血ぎみ

カルフェロ  
マルチ20

新開発!



リン0.4mg、  
カリウム2.4mgと  
微量ですので安心して  
お飲みください。

内容量  
1本20ml

カルフェロ マルチ20	1箱(50本入り) ●通常価格 11,100円	▶	新発売記念価格 <b>9,500円</b> (送料・税込み)
	お試し用(10本入り) ●通常価格 2,490円	▶	新発売記念価格 <b>2,220円</b> (送料・税込み)

●商品の発送は日通ペリカン便でお届けいたします。

発売以来、実績No.1!



感謝の声を沢山いただいて、好評発売中!!

カルフェロ Carfero	1箱(50本入り) ●通常価格 11,100円	▶	キャンペーン価格 <b>9,500円</b> (送料・税込み)
	お試し用(10本入り) ●通常価格 2,490円	▶	キャンペーン価格 <b>2,220円</b> (送料・税込み)

商品ご購入お問い合わせ

ベータ食品株式会社  
〒531-0071 大阪市北区中津1-6-28

0120  
FreeCall

0120-831-123

受付 ●平日/9:00~18:00 ●土・日・祝/10:00~17:00

FAX 06-6371-7110 24時間受付

インターネットでも購入できます。http://www.beta-k.com

健康相談室

☎0120-771-315

# 快適な透析生活をサポートします

不足しがちな栄養成分の補給に！

透析専門医の協力を  
を得て開発された  
栄養ドリンクです。

喜びの声を  
好評発売中

## エルピス

3つの主要栄養成分と  
1本当りの配合量



カルニチン  
270mg

アルギニン  
50mg

ルチン  
50mg

【主要成分】 L-カルニチン、アルギニン、  
ルチン、ビタミンB類(B1、B2、B6、  
ナイアシン、葉酸)、鉄、クエン酸

1本50ml  
発売元：エルピス株式会社  
製造元：中外医薬工業株式会社

## エルピス Elpis

割引ポイント付  
商品代金の5%  
次回購入時にご利用ください

1箱 (50本入) ⇨ 10,500円 (送料・税込)

お試し用(10本入) ⇨ 2,490円 (送料・税込)

(内訳) 商品代2,000円・送料380円・消費税110円

エルピス専より日通ペリカン便でお届けします。

ご購入・お問い合わせは

## エルピス株式会社

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1丁目21番31号

0120-393-578

(受付) 平日9:00~18:00、土・日・祝休業

FAX 06-4809-5575 (24時間受付)

Eメール elpis@joy.ocn.ne.jp

ホームページ http://www12.ocn.ne.jp/~elpis/

こんなことが気になる方に

透析中や夜中に起こる手足のケイレン 透析後半の急激な血圧低下

心臓機能の低下 透析後の倦怠感、疲労感 貧血気味である

これらの症状の大きな原因は、透析を受けている方に必要な栄養成分が不足しているためです。

## エルピス利用者 アンケート分析

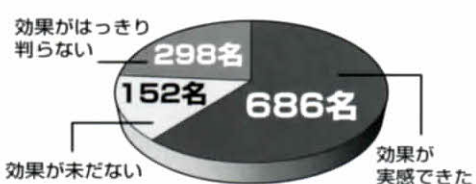
利用開始後2ヶ月前後のご利用者を対象に行っているアンケートのまとめです。

60%強の方が  
効果実感

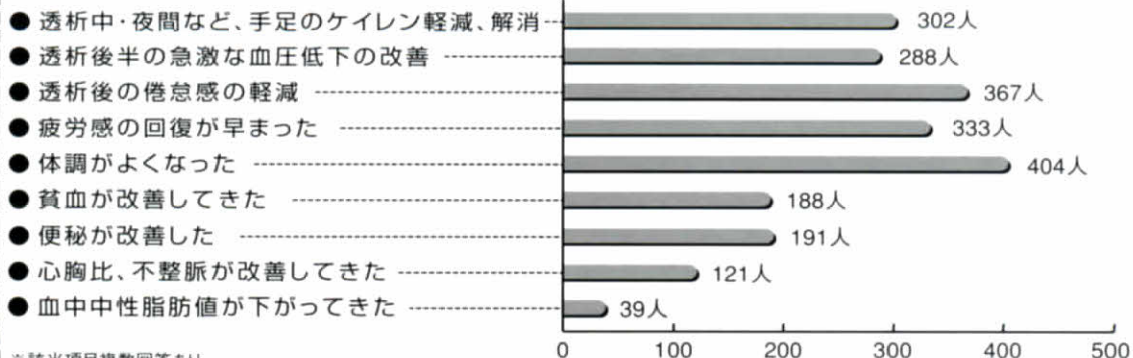
回答総数	1136名
男性 / 女性	590名 / 546名
年齢	22 ~ 86歳 50 ~ 60歳代が多い
透析年数	1 ~ 33年 2 ~ 12年の方が多

(集計) 平成16年4月26日現在:回答率35%

### 効果・実感までの日数



### 症状別改善数



※該当項目複数回答あり。  
※その他の効果として、食欲、高血圧、低血圧、カユミの改善が目立ちます。  
※血中中性脂肪値の改善数が少ない理由は、回答者の関心度の低さにもあると思われます。



# 気持ちのよい汗、始めませんか

## かゆみ、水分管理、冷え等でお悩みの方 1週間無料体験できます

『湯カラッと』は特許の様々な仕組みで、低い温度(40℃~50℃)の僅かな湿り気を含む温風により、お風呂の様な水圧もなくサウナの様な熱の負担もなく、身体を芯から温め、無理なく発汗させます。

### お客様の声

#### ○サウナよりも楽に入れる (透析歴7年 男性)

銭湯のサウナは熱くて負担があるが「湯カラッと」は楽に入れる。昨夏はタオルを使う事など無かったが、春から使い始めて今年の夏は、寝ていても汗が出るようになってきた。

#### ○かゆみが以前より和らいできた (透析歴5年 男性)

汗の量は季節によって異なるが、1回の使用で100~400cc程出るようになった。普段の生活の中でも汗が出やすくなってきている。かゆみも透析の待ち時間に「孫の手」を使わなくても良いほどに和らいできた。

#### ○体が温まり冷えの症状が無くなった (透析歴3年 女性)

購入後3ヶ月までは汗の量も少なかったが、1年使用した今では300cc位出る。私は血行不良で冬になると体が温まるため、今までの様な症状が無くなった。水分管理もうまくいき快適です。

- 体重管理が楽になった。
- 体が温まり調子が良い。

#### ○血圧が安定してきた (透析歴8年 男性)

1年半毎日使っているが、一気に入り続けるのではなく出たり、入ったり工夫し、自分に合った方法で使用している。汗は少しずつ出るようになり、かゆみも和らいできた。高かった血圧も下がり、今は安定している。

#### ○気持ちの良い発汗で、肌もツルツル (透析歴15年 女性)

汗の量は200cc~300cc程度であるが、気持ちの良い発汗により肌がツルツルし、「顔色が良くなったね」と人から言われるようになった。体も温まるので今では家族皆で健康管理のため喜んで使用しています。

#### ○手軽に使えて嬉しいです (透析歴25年 女性)

使用して2ヶ月で、まだ沢山の量が出る程度でもないですが、汗が流れる感じがとても良い気分です。体がポカポカ温まり、心なしかよく眠れる気がします。何よりも手軽に使えることが嬉しいです。

「湯カラッと」は、全国の県腎協、県友会、難病連様でお取扱いいただき使用されている会員の方々に大変好評です。(一部地域を除く)

- お部屋でテレビを見ながら簡単に使用できます。
- 組立、後片付けがラクラク!  
畳一帖分のスペースでOK。
- 好きなところで好きな時間に入浴。
- 熱さや息苦しさのないリラックス入浴。
- 熱くなく多量に発汗。
- 1回30分の入浴は  
わずか5~9円の電気代で使用でき経済的。
- 体の芯まで温まり、家族みんなの美容と健康に効果的。
- 乾燥機能が付いて衛生的。



標準価格 218,000円 → 会員特別価格 174,400円(税抜き)  
月々6,000円より分割払いOK(3~36回)

世界7ヶ国特許商品  
通産省許可商品第81-22557号

パンフレット、モニター体験を希望される方は下記までお気軽にお問い合わせください。

北海道腎臓病患者連絡協議会  
〒001-0017 札幌市北区北17条西2丁目21-617  
サザンアベニュー北大101  
TEL・FAX (011)747-0217

オンキョーリブ(株)お客様相談室  
フリーダイヤル 0120-31-8065 まで  
〒572-0028 大阪府寝屋川市日新町1番13号  
TEL (072)-831-8090 FAX (072)-831-3263  
http://onkyoliv.onkyo.co.jp